

野毛青通信とは、世田谷区・野毛にある若者たちの交流スペース「野毛青少年交流センター」の活動を中心に、野毛地域のいろいろな情報を発信する情報誌です。

NO.2  
2014.12.1発行

特集

## のげ青子ども祭

### のげアオイフェスティバル

毎年恒例の大人気イベント「子ども祭」が今年も開催しました！例年より一層賑やかになった今年の子も祭、会場の様子をレポートします！



秋の恒例行事「子ども祭り」を11月9日(日)に開催しました！心配していた天候もお祭りが始まると次第に晴れてさわやかな秋空に。およそ250名のお客様にご来場いただき、お祭りらしいにぎやかな雰囲気になりました。石けんづくりのワークショップや射的ゲーム、ダンボールで手作りしたワニワニパニックなどのゲームコーナーや、わたがし、ポップコーンなどのお菓子ブースなどなど…どれもこれも子どもに大人気のものばかり！のげ青に通い始めてきた若者たちはフリースペースにて巨大コリントゲームを制作し、はじめて訪れた子どもたちを巻き込んで楽しく遊んでいました。たくさんブースで楽しむ子どもたちと、笑顔で子どもたちと接する祭スタッフの姿が印象的な賑やかなお祭りとなりました。ホールの特設ステージでは学生団体のヒーローショーや、ラムネ早飲み大会も催され、子どもたちはもちろん大人も交じって大盛り上がり！他にも、プロのアーティストによる壁画ライブペイントや、香ばしい香りのする七輪焼きブース、コミュニティベーカリーの出張販売など盛りだくさんでした。夕方には、視聴覚室でお疲れ様会も兼ねた交流祭も開催しました。いつもののげ青を利用している中学生のバンド、DTMで作曲をするテクノミュージシャン、子ども祭実行委員とスタッフによるライブパフォーマンスなどなど、出演者の賑やかな演奏を聞きながら、楽しいステージをみんなで肩を並べて楽しみました。交流祭終了後も名残惜しうにのげ青に残り、撤収作業を手伝ってくれる若者の姿もありました。来年の開催が楽しみになりそうです。今年の子も祭には、協力団体スタッフや当日のお手伝いスタッフ、総勢100名を超える祭スタッフが集まってくれました。たくさんの方々を支えられた今年の子も祭。来年のお祭りもどうぞ楽しみに！

### 協力団体

- 世田谷リーダーズスクール ●T・B・T 玉川ブロック児童館 Teens
- 玉川地域児童館(等々力、玉川台、深沢、上用賀、新町、森の児童館)
- せたがや若者サポートステーション ●NPO法人ら・ら・ら
- きぬたま遊び村 ●せたがや水辺の楽校 ●専修大学アクションクラブ

今回の祭は、協力団体の方々や当日のお手伝いの方々など、総勢100名を超えるスタッフの方々のおかげで実現しました。集まってくれたスタッフの皆様どうもありがとうございました！



①のげ青入り口に設置した手作り巨大アーチ ②大学生によるヒーローショー ③せたがやサポステの手作りワニワニパニック ④のげ青の若者が作った巨大コリントゲーム ⑤ラムネ早飲み大会の様子 ⑥児童館ゲームブースの風船イライラ棒 ⑦お菓子やカフェなどが並んだ屋外テントブースも大盛況！

## のげ青 TOPICS

最近ののげ青で話題の出来事や出来事をお知らせします！



### せたがやサポステinのげ青

#### のげ青がテレビで紹介されました！

12月14日に世田谷区の広報番組がTOKYO MXにて放送され、野毛青少年交流センターが紹介されました。ほぼ全館で撮影がありましたので、まだ来館されたことのないみなさん、のげ青をのぞき見るチャンス！見逃した方は以下のサイトから動画を視聴できます！  
[https://www.youtube.com/watch?v=\\_Ab9uocHqY&feature=youtu.be](https://www.youtube.com/watch?v=_Ab9uocHqY&feature=youtu.be)



### オトドラマ CD 作りしました

8月にスタートを切った中高生バンドチャレンジプロジェクト「オトドラマ」。他の参加メンバーに紹介したいおすすめの数曲を「1曲を揃えよう！」という呼びかけから、みんなのお気に入り曲を持ち寄り、オリジナルジャケットのCDアルバムにまとめました。新しい仲間に出会う喜びと、まだ触れたことのない新しい音楽に出会うワクワク感のつまったものができあがりました。

## 手のひら キッチンレポ

今回の講師 表千家茶道教授 豊田 美智子 さん

美味しい料理を自分で作れるようになりたい。けれどこれまで料理はやったことがない…。そんな若者たちへののげ青がプロデュースするクッキングプロジェクト「手のひらキッチン」。第一回目のテーマは「和食」。講師の美智子先生のご指導のもと、素材を活かすという考え方、出汁のとり方などの日本料理の基本調理、お椀の配置や箸の持ち上げ方などの所作の基本などを教えていただきました。出来上がった料理は…おいしい！今回は一汁三菜ならぬ一汁二菜。素材の味の美味しさを引き出し、味わうことってなんて豊かなことなんだろう！「味がうすいと、(素材の味を)確認しながら食べるから、(自分の)味覚を使っている感じがする」「普段食べているものは、味が押し寄せる感じ」と普段食べている食事との味わい方の違いを感じてくれた参加メンバーもいました。次回の「手のひらキッチン」もお楽しみに！



講師の豊田美智子さん(左)の手ほどきで繊細な和食の味を学ぶ研修生たち(右)



今回のお客さま 自然工房「森の民」 坂野巖さん、小田紋子さん、天野陽太さん

自然工房「森の民」のスタッフの方が音楽の練習のために来館してくれました。楽器を見せてもらおうと、民族楽器のような独特な形をした楽器たち。「この楽器、自然の素材から自分たちで手作りしているんです。」聞けば、地域から集められた廃材からも楽器やアート作品に作りかえてしまうのだとか…。中には、鼻息だけで吹く「鼻笛」なんてユニークなものまでありました。「森の民に来るのは2歳の子どもから大学教授までさまざま。僕らスタッフみんなで「安全だよ」的なオーラ出しているから(笑)。それでみんな居心地良いみたいね。」そんな、良質な居場所作りの秘訣を自然体な言葉でゆったりと語ってくださいました。

MEMO 自然工房「森の民」 自然を守り、未来に残す事を目的としたNPO団体。アーティストやミュージシャンが集まり、ツリハウス作りや楽器・雑貨製作のワークショップなど企画しています。



「森の民」代表の坂野巖さん(左) 通信・アヤインこと小田紋子さん(中央)、天野陽太さん(右)

## 野毛青の人々

のげ青 コースワーカー 成田 洋平 さん

こんにちは！のげ青コースワーカーの成田洋平です。子どものころからずっと世田谷で育ってきました。卓球をしたり、ギターを弾くのが好きです。のげ青はたくさんの方が集まることで、みなさんにとっての新しい出会いや、気づき、発見につながる場所です。日常の中の「なぜ？」を大事に、みなさんのおしゃべりの中から自分もいっしょにいろいろなことを学んでいきたいと思っています。みなさんの趣味や好きな事、日常のこと、いろいろな聞かせてください。気軽に声をかけてくださいね！どうぞよろしく～。

楽しいひとときを過ごす。みんなの“manabication”の場所をつくりたいと思っはるのげ青にぜひ遊びに来てほしい！



## 世田谷区 野毛青少年交流センター

〒158-0092 東京都 世田谷区 野毛 2-15-19  
TEL/FAX 03-3702-4587  
mail [nogesei@npobunka.net](mailto:nogesei@npobunka.net)  
twitter @nogesei\_youth  
<https://www.facebook.com/nogesei0510>

のげ青 facebook ページ絶賛更新中！ QRコードからアクセスしてみよう！！

